

決算特別委員

野外活動センター休止でなく、継続して活用を!



野外活動センターの炊事棟

放課後児童会、障がい者などがキャンプで利用

交野市野外活動センターは、昭和49年に開設され、夏期を中心に、日帰りキャンプ150名、宿泊キャンプ108名まで収容で

市は、第2次財政健全化計画案のなかで、交野市野外活動センターについて、来年度から運営を休止することを提案しています。

日本共産党は、決算特別委員会で、「豊かな自然が交野の魅力であり、野外活動センターは、休止すべきでない。運営を継続し、計画的に整備を行うべきだ」と求めました。

きます。広場や炊事棟、かまど、大テント、宿泊用テントなどの設備があります。

例年、放課後児童会、障がい者のなかよしキャンプ、体育文化協会のサマーキャンプスクールなどを中心に、家族やグループでも利用されてきました。(平成20年度 宿泊439名、日帰り15名の利用)。

しかし近年、大テントや宿泊用テントが老朽化し、大雨など緊急時の避難場所の確保が課題となっていました。市は、これらを改修すれば約2000万円の費用が必要となり、財政上難しいため、平成22年度から運営を休止するとしています。

かたの民報

議会版

2009年11月1日
NO.1488

【発行】
日本共産党
市議会議員団

ご相談は市役所
議員団控室へ

私部1-1-1
☎892-0121
(内線301)



中上 さち子
倉治6-17-13
☎893-6785



さかの 光雄
私部1-38-23
☎893-1083

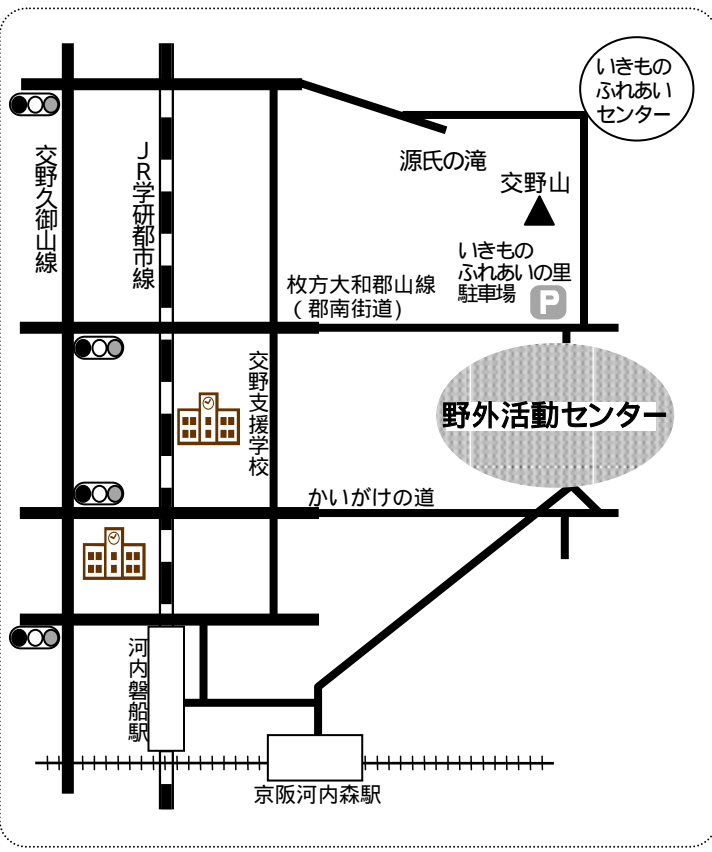


さらがい ふみ
星田7-44-21
☎894-2835

運営を継続し、
計画的に整備を

今年1月に出された「平成19年度分 事務事業評価報告書」では、野外活動センターの運営について、市は、「交野の自然を体験できる数少ない施設として、環境キャンプ等新たなキャンプを開催し、利用者増加を図ります。また、ボランティア団体の活動の拠点とするなど、市民との協働をすすめる

がら継続実施します。」との方針を示していました。ところが5月の「財政健全化緊急プラン」では一転して、来年度からの休止を提案しました。日本共産党は、「豊かな自然は交野の魅力であり、いまある施設を十分に活用するべき。日帰りキャンプの充実で利用者を増やすなどの工夫もしながら、運営を継続し、計画的に施設の整備を行うべきだ」と求めました。



弁護士相談

日時 11月19日(木)
午後3時~5時

場所 交野市役所 3階
(日本共産党議員団控室)



☎892-0121(内線301)

順番がありますので事前にお電話ください。

第2次財政健全化計画案について

意見募集(パブリックコメント) 11月2日(月)まで

意見に住所・氏名を記入し、郵送・ファクス・eメール・直接持参で

〒576-8501 交野市私部1-1-1
交野市役所 財政健全化推進室
FAX 891-5046
e-Mail : zaiken@city.katano.osaka.jp